

東北電力及び四国電力の電気料金値上げ認可申請に関する質問事項（案）

1. 東北の復興関係等

(東北電力)

- 震災や豪雨による、施設破損等について、次の点をご説明いただきたい。
 - ・被害額の総額はどれくらいか。
 - ・震災による被害を修繕するための費用について、修繕費の詳細と、その償却期間についてご説明いただきたい。
- 近時、損益が改善しているように見受けられるが、販売上の利益・損失の実績と見通しの詳細についてご説明いただきたい。
- 仮設住宅の住民等、被災者に対して何か特別な対応をとる予定はあるのか。
- 国の災害復興支援との関係はどうなっているのか。
- 女川原発の再稼動に時間がかかる理由をご説明いただきたい。

2. 人件費

(両電力)

- 役員数及び役員報酬、一人当りの平均額。また、組織規模に対して役員数は適切か。
- 人件費の地域補正について、両社とも人事院資料を使用した理由。
- 出向者の出向先と給与
- 人件費における給与の比較について、比較対象とした公益事業のセクターの範囲（両社ともガス、水道、通信、鉄道、航空）の理由は。
- 退職一時金の扱い（特に数理上の差異の具体的金額）についてご説明いただきたい。
- 一般厚生費の内訳、見直し状況はどうなっているか。
- 健康保険料事業主負担（56%）の考え方は。さらに引き下げられる余地はないか。
- 委託検針費・委託集金費の引き下げの中身は。
- 原価算定期間の職員採用計画の詳細は。
- 雑給の中身をご説明いただきたい。

3. 燃料費

(両電力)

- 燃料費に含まれる諸経費について、内航運賃、精製コスト、荷役料、滞船料、気化費、備蓄費、中継基地経費、基地経費、揚炭費・運炭費、貯炭管理費、転送費、通関手数料、輸入代行手数料、監視警戒料、寄託手数料、タンク管理費、需給調整対応タンク費、揚地検定料、などは金額を明示したうえで、さらに「その他」についても可能な限り明細を開示していただきたい。
- 燃料費の中で、燃料代そのもの以外に運賃（船代）が大きい。最近、LNGの先物市場創設が話題となっているが、用船にも国際市場があり、国際ベンチマークがあればそれとの比較を示すべきではないか。

4. 購入・販売電力料

(両電力)

○購入・販売電力量の内訳をご説明いただきたい。

(四国電力)

- 「融通送電分を自社需要に充当することによる費用増（融通縮小分をお客さまにご負担いただくことになるため原価増となります）、火力燃料費の増などにより、711億円増加することとなります」という説明がされているが、詳細にご説明いただきたい。
- 融通電力にかかる経費を、原価に算入する根拠は何か。（他社に売る電力の発電等にかかる費用を、消費者が負担することにならないか。）
- 販売電力料に関するコスト、利益について、自由化、規制部門への配分の実績と原価算定期間の見通しをご説明いただきたい。

5. 事業報酬

(両電力)

- 事業報酬3%を消費者が負担する理由について、財務状況を踏まえてご説明いただきたい。
- レートベースの特定投資において、日本原燃への投資増となる理由についてご説明いただきたい。
- 配当の扱いについてご説明いただきたい。
- 変動積立金の取り崩しの状況についてご説明いただきたい。

6. 調達・修繕費・設備投資等

(両電力)

- 調達における競争入札比率の具体的目標はどうなっているか。東北電力は競争発注率を30%程度としているが、さらに引き上げられる余地はないか。四国電力は競争発注率についての言及がないが、引き上げにどう取り組んでいるか、またその効果はどう見積もっているか。
- 関連会社や子会社からの調達に関する競争入札比率の具体的目標についてご説明いただきたい。
- 経営効率化の具体的な内容についてご説明いただきたい。
- 普及開発関係費、研究費（分担金を含む）の詳細についてご説明いただきたい。
- 一般財団法人電力中央研究所の分担金の見直し状況をご説明いただきたい。
- 修繕費等項目もすべて絶対額と共に同スペック（●/KW、●/KWh、●/人等）で一覧にし、ヤードスティック査定を各社で比較して行い、情報公開を進めるべきではないか。

(四国電力)

○修繕費のメルクマール率の採用期間を直近3カ年とした理由、5カ年の場合の率をご説明いただきたい。

○配布資料P. 14の平成27年度における追加設備投資の内容をご説明いただきたい。

【原子力バックエンド費用】(両電力)

○バックエンド費用については法令等で規定されているが、原価に参入される費用で十分なのか、むしろ足りないのではないかと疑問をもっている。必要費用やその負担についての考え方についてお聞かせ願いたい。

7. その他

【供給予備率】(両電力)

○供給予備率の考え方について、ご説明いただきたい。

【自由化部門と規制部門】(両電力)

○H20年、23年、H24年以降について、自由化部門と規制部門の販売電力量と利益の比率を示していただきたい。

【消費者への説明】(両電力)

○値上げについて、消費者への理解をどのようにして求めているか。例えば、消費者団体や各消費者との意見交換をしているか。

【料金メニュー】(両電力)

○選択約款(さまざまなメニュー)が果たす役割(個別メニューの詳しい説明ではなく)について、事業面と需要者にとっての両面から、総括的にご説明いただきたい。

○3段階料金設定の妥当性についてご説明いただきたい。また、可能であれば収支を示していただきたい。

【資産売却】(両電力)

○資産売却について、遊休地等資産の数量(件数)、うち処分対象のスケジュールをご説明いただきたい。

○保養所やスポーツ施設等の保有・売却の状況についてご説明いただきたい。

以上